

不定詞 その3:形容詞的用法

★では、例文で見てみましょう。

I want **something** to read. 私は読むための何か(何か読むためのもの、何か読むもの)が欲しい。
 Please give me **something** to drink. 飲むための何か(何か飲むためのもの、何か飲むもの)をください。
 There are many **places** to visit in Kyoto. 京都には訪れるべき(訪れるための)場所がたくさんある。
 ※ **many places** をひとまとまりで名詞と考えてもOK。また、和訳は **たくさんの場所** でもOK♪
 He bought **a present** to give his mother. 彼はお母さんにあげるためのプレゼントを買った。

【ミニ練習問題】

次の英文の **名詞** の部分は **箱** で囲み、不定詞(to + 動詞の原形)の部分には下線を引いてみよう。
 また、それぞれの英文を和訳して、そちらも **名詞** は **箱** で囲み、不定詞には下線を引いてみよう。

例) I want something to eat.

→ I want **something** to eat. ※日本語の文は **不定詞** **名詞** という形になるように箱や下線を引いてね!
 (私は食べるための何か(何か食べるためのもの、何か食べるもの)が欲しい。)

Please give him **something** to drink.

(彼に食べるための何か(何か食べるためのもの、何か食べるもの)をあげてください。)

There are some **places** to visit in this town.

(この街(町)には訪れるべき(訪れるための)場所がいくつかある。)

※または **some places** と囲んで、「訪れるべき(訪れるための)いくつかの場所がある」でもOK。

★ ここから少し難しくなりますよ。でも大丈夫！ ゆっくりついてきてね。★

↓これは、「その1(副詞的用法)の、さらにその①」の解説プリントの中に出てきた例文です。

I went to the library to study math. 私は数学を勉強するために図書館へ行った。

…あれ？ この文、

I went to **the library** to study math.

↑ library(図書館)が名詞だから、このように **箱** で囲める気がしませんか？

(o^▽^)o<する〜〜！

するよね？ しますよね？ 名詞 + 直後に不定詞(to + 動詞の原形) となっているもんね？
 でも…その名詞を **箱** で囲んで、さっき練習したように「その3」の訳し方で和訳してみると、

私は数学を勉強するための**図書館**へ行った。(. .)

…「数学を勉強するための図書館」？ …?? そんな図書館ある??

おかしい。これはおかしい。

つまり、I went to the library to study math. この英文は、

形は「その3」の形をしているとも言えるけれど、意味(和訳)を考えると「その3」の意味ではおかしいので、その3(形容詞的用法)の英文ではないということなのです！

「その1のその①」の解説や練習問題に出てきた英文は、この特徴(名詞を **箱** で囲むとその3っぽいけど、その3の和訳のしかたで和訳してみるとおかしい)が当てはまるものが多いので、1つ1つ確認してみると、その1の復習にもなるし、その3の勉強にもなりますよ。ちょっと大変だけど Let's try(≧▽≦)